

ドイトンコーヒー2号店が駅前にオープン

麻薬撲滅と結城市の活性化を狙いに

ドイトンコーヒー2号店が11月13日、結城駅前の結城市民情報センター1階にオープンしました。式典にはタイからメーファールワン財団会長のディスナダ・ディスクル殿下（愛称クンチャイ殿下）と財団事務総長代理のプアングロイ・ディスクル殿下夫人が駆け付け、前場文夫結城市長、白井平八郎県議、中田松雄結城市議長、笠間市の久須美忍副市長らとともに、オープンを祝いました。

ドイトンコーヒーは、タイ北部のかつて麻薬地帯だったゴールドトライアングル地域で、ケシの代わりにコーヒーなどを栽培し、タイ北部の山岳民族に麻薬に頼らない合法的な生活手段を得ようと「ドイトン開発プロジェクト」を展開。この趣旨に賛同し、2012年に城西病院内に日本で唯一のドイトンコーヒーがオープンしました。

今回、ドイトンコーヒーをより多くの市民に知ってもらい、市の顔とも位置付けられる駅前にコーヒーショップを開くことで、結城市のにぎわい作りに一役買おうと、2号店を出店しました。

オープニング式典は、薬物依存リハビリテーションセンター「ダルク」の太鼓「矢馬」「八丈」で開幕。城西病院グループの多田正毅理事長は、メーファールワン財団との関係語り「結城市の活性化につながり、そして結城市の1つの顔になってほしい」とあいさつ。クンチャイ殿下は「ドイトンは日本とタ



イを結ぶ架け橋。姉妹都市となった結城市とタイのメーサイ市の新たな歴史が始まる」と祝福。クンチャイ殿下と多田理事長はオープンの調印書にサインし、テープカットでオープンを祝い、エーサー隊の「風になりたい」を楽しみました。2号店は午前10時から午後6時、土、日、祝日は午前11時から午後5時。月曜日は原則休みとなります。

平成27年11月13日



エーサー隊の「風になりたい」



ダルクの太鼓演奏

